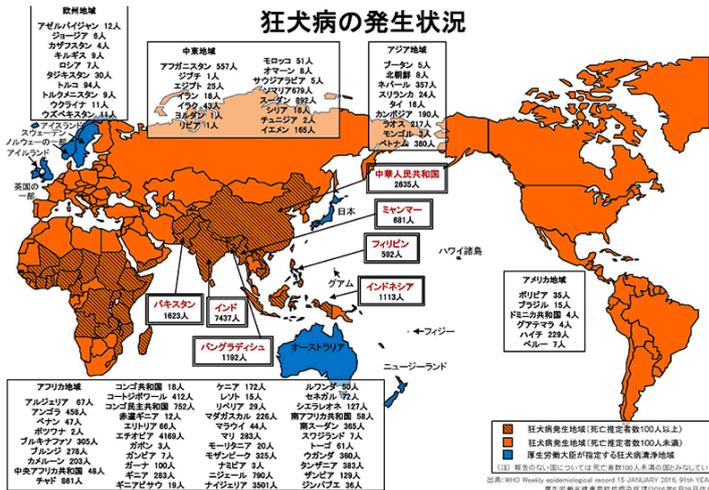




Topic 01 狂犬病予防について

狂犬病とは、感染動物に咬まれたり引っ掻かれたりすることで、人間を含む全ての哺乳類が感染し、発症するとほぼ100%死に至る恐ろしい感染症です。世界のほとんどの国で今も発生しており、毎年約5万人が命を落としています。



Topic 02 すぐそこに迫る恐怖

日本は、狂犬病予防法による犬の登録と狂犬病予防注射の義務付けにより、長年発生がなく、現在は清浄国とされています。そのため、幸いにも国内では人が狂犬病の感染を意識することは少ないですが、それゆえに、海外を訪れた際の感染リスクを認識しづらくなっています。実際に、海外で人が犬に咬まれて感染し、帰国後に亡くなる事例が発生しています。海外では、むやみに犬に近づかないようにしましょう。また、動物に咬まれた際は直ちに現地の医療機関に相談しましょう。

Topic 03 台湾での問題

また、国際交流が盛んな現代では、様々な動物が輸入されています。狂犬病ウイルスが日本に侵入するリスクは常に存在しているのです。実際に、長年清浄国だった台湾では、2013年に、ペットの犬での感染が52年ぶりに確認されてしまいました。



ペットと私の震災シミュレーター

避難場所 | ハザードマップ | 連絡方法 | 安否確認 | 備蓄品

Topic 04 いまできること

万が一、狂犬病ウイルスが侵入した場合、愛犬を守るのは予防注射だけです。そして、それは飼い主やその家族を守ることに繋がります。予防注射は、その効果を維持するために毎年1回受ける必要があります。横浜市獣医師会では、市と協力し、毎年4月に区

役所などを会場として集合注射を実施しています。また、会員動物病院では一年を通じて接種が可能です。接種後は、注射済票の交付を受け愛犬に装着しましょう。愛犬の命を守るために、そして人と動物が安心して共生できる社会を築くために、犬の登

録と狂犬病予防注射を必ず受けてください。私たち獣医師は、皆様とともに狂犬病のない社会を守り続けます。

横浜市磯子区西町14の3
神奈川県畜産センター内
公益社団法人
横浜市獣医師会